

仲間づくり教養コース ②国際社会学

大転換期を迎えた21世紀の世界を読み解く

第2回 欧州連合（EU）の光と影

ヨーロッパとはどこから、どこまで？

日時 10月29日（土） 10:00am～

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 堀江則雄氏（法政大学社会学部 講師）

受講生 38名

第二回目は、イギリスのEU離脱問題で、いま何かと話題のEU（欧州連合）にスポットをあて、その光と影について学習しました。

講師は、第一回に続き堀江則雄先生です。

<はじめに>

- ヨーロッパとはどこからどこまでか？→ロシア（解体前のソ連）を含むか否か諸説あり
- 統合と分断→国民国家（Nation State）を超える苦悩/冷戦での西欧の対ソ連結束が誕生の背景

EUの3つのP

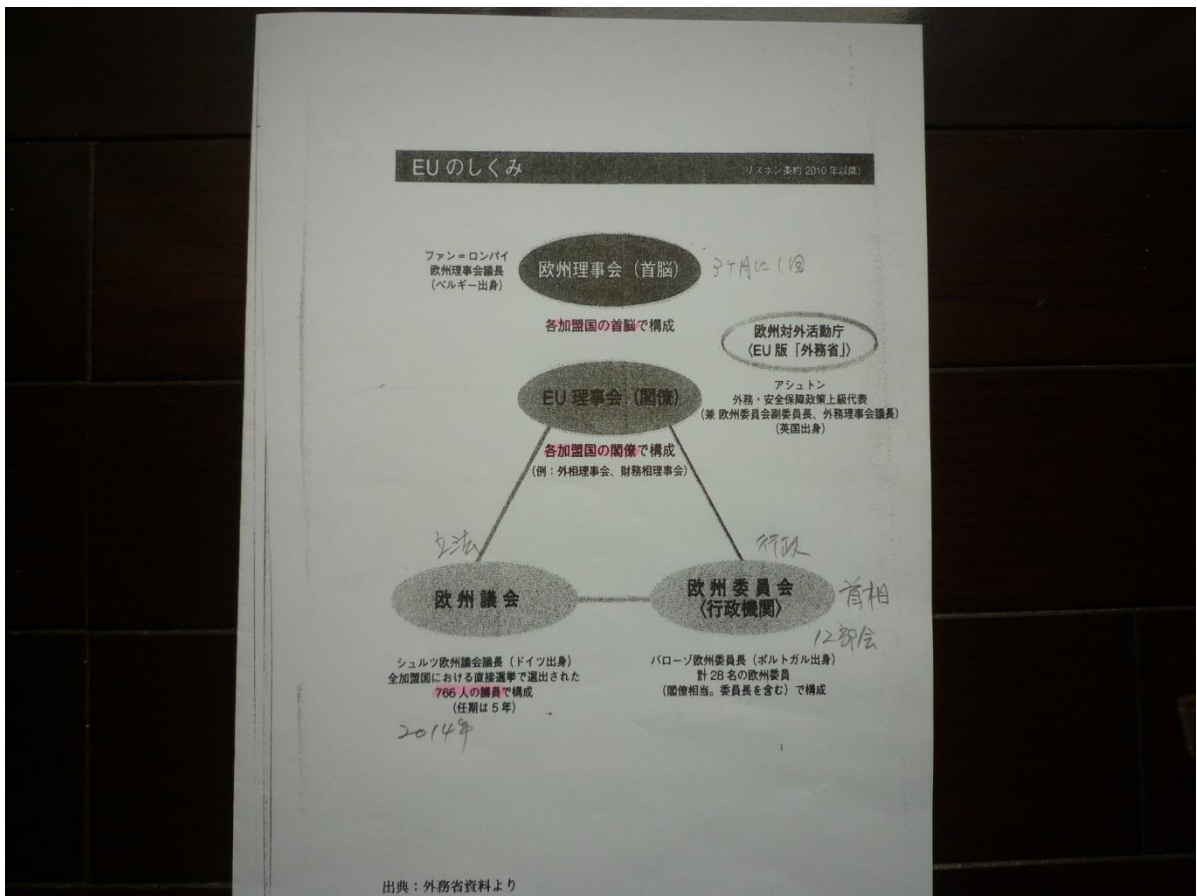
- Peace=不戦共同体、2012年ノーベル平和賞受賞
- Prosperity=5億人の巨大市場、南北・東西格差
- Progress=EU市民権、社会政策、高い失業率、差別の温存

EUの前身の歩み

- 1952年 欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）設立、6ヶ国、アルザス・ロレーヌ地方、独仏和解・連携、歴史認識、共同教科書、相互留学（750万人）
- 1958年 欧州経済共同体（EEC）発足
- 1967年 欧州共同体（EC）発足、原加盟（ベルギー・ドイツ・フランス・イタリア・ルクセンブルク・オランダ）
- 1986年までに12ヶ国体制 原加盟+デンマーク・アイルランド・英国・ギリシャ・スペイン・ポルトガル
EU旗、星12、単一市場、関税同盟、地域協力機構



【EU加盟国分布図】



【EUのしくみ】

E U 発足：その拡大と深化

- ◎1989年 東欧民主化
- 1991年 ソ連崩壊 ヨーロッパの秩序が大激変
- 1993年 欧州連合条約（マーストリヒト条約）発効、単一通貨導入、政治的同盟、E U 市民権などを盛り込む
デンマーク国民投票で一旦否決
- 1995年 オーストリア・フィンランド・スウェーデンの3ヶ国新規加盟（12+3）
- ◎1999年 共通通貨ユーロ導入（2001年実施）
- 2004年 キプロス・チェコ・エストニア・ハンガリー・ラトビア・リトアニア・マルタ・ポーランド・スロバキア・スロベニアの10ヶ国新規加盟（15+10）
- 2005年 「E U 大統領」など超国家機関を盛り込んだ {E U 憲法条約} の提起
フランス・オランダが国民投票で否決、棚上げ・練り直し
- 2007年 ブリガリア・ルーマニアの2ヶ国新規加盟
- 2008年 憲法条約を大筋盛り込んだ「E U 新基本条約（リスボン条約）」を、アイルランドが国民投票で否決、二回目で可決、2009年発効
- 2013年 クロアチア新加盟（加盟国28ヶ国）
- 2010年～15年 ギリシャ危機、ユーロ危機
- 2016年 英国が国民投票でE U 離脱決定（実務手続きはこれから）

国民国家からの離脱～E U は生き残れるか

- 反E U のうねり 移民・難民、グローバル経済・失業、超国家機関への反感
- 一方統合の流れは不可避 問題はどんな統合方法か？ 合衆国、主権共同管理等々



【毎回熱弁を揮われ受講生を引きこむ、堀江講師】

【文責：秋山孝昭】